

様式第4号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件概要書

【案件名：つくば市スーパーシティ基本方針（案）】

つくば市政策イノベーション部スマートシティ戦略室

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

つくば市では、市民にとってより便利で快適な暮らしを目指して、つくば市スーパーシティ基本方針（案）を策定します。

スーパーシティとは、AI（人工知能）やビッグデータ（膨大なデータの集合体）等の未来技術を活用することで、生活の中の「困りごと」の解決を図り、市民が「住みたい、住み続けたい」と感じるより良い未来社会を実現することを目指していくものです。

今般、つくば市スーパーシティ基本方針（案）—スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に係る提案骨子—の策定にあたり、市民の御意見を反映させるためパブリックコメントを実施いたします。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

【群馬県前橋市】スーパーシティ区域指定の応募に係る構想（案） 他

○ 未来構想における根拠又は位置付け

本案は、つくば市のまちづくり理念である「つくば市未来構想」において、「市民のために科学技術をいかすまち」の方針に則して策定されるものです。

○ 関係法令、条例等

国家戦略特別区域法

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果（算出できるものはコストを含む。）

スーパーシティ型国家戦略特別区域として指定されることで、データの利活用及び現行の法律や規制を緩和することができ、これまでにない最先端サービスの利用を可能にします。これにより、市民の皆様にとってより便利で快適な暮らしを実現することができます。

つくばスーパーサイエンスシティ構想 “Empowered Citizens and Inclusive Communities”



「誰一人取り残さない」包摂の精神のもとで、世界トップレベルの科学技術を結集し、デジタル、ロボティクス等の最先端技術の社会実装と都市機能の最適化を進めていく。これにより、市民と市民、市民と行政のつながりを深化しつつ、出口の見えない社会課題の克服や革新的な暮らしやすさを実現する市民中心のスーパーシティを目指す。



<デジタルインフラ整備>

マイナンバー・マイナンバーカード利用拡大
高齢者向けスマホ配布、スマートフォンアドバイザー（仮称）配置

<先端的サービスの実装>

行政

インターネット投票、多言語ポータルサイトアプリ、庁内データ共有・利活用、市民意見収集によるEBPM

移動

交通ネットワークの最適化、自動運転車のオンデマンド配車、パーソナルモビリティ、送迎バスシェアリング

物流

自動配送ロボットやドローン等による配送最適化

医療 介護

医療情報や生活習慣情報活用による健康寿命延伸・救急医療高度化、遠隔医療、学校の体調管理デジタル化

防犯 防災 インフラ

無人機器やAI等による建物・道路・橋梁の点検・診断、防災・災害情報プラットフォーム、地域防犯システム

データ連携基盤

<民間事業者等のコミット>

つくばスマートシティ協議会（産学公40機関加盟）と連携

<大胆な規制・制度改革>

公職選挙法、道交法、オンライン診療の適切な実施に関する指針等

<住民等の意向の把握>

住民投票、市長キャラバン、オープンハウス、市民アンケート、市有識者会議、パブコメ、市長マニフェスト

<住民等の個人情報の適切な取扱い>

つくば市個人情報保護条例等、つくば市プライバシーポリシー等、市役所職員必須のデータ利活用研修、つくばスマートシティ倫理原則

先端的サービスに随時導出



高齢者が特に多い地域
(筑波地区)

単身世帯、外国人居住者の多い筑波大学周辺地域及び筑波大学キャンパス

子育て世帯が多く、再開発も予定されているつくば駅周辺

高齢者が特に多く、高齢者世帯の割合も高い地域(荊崎地区)



アーキテクト
(全体統括者)
筑波大学 鈴木健嗣 教授

<研究成果の社会実装>

つくばの研究機関から生み出される研究シーズを、実証実験を経て社会実装。

③ 社会実装



企業、市

② 実証実験



企業、市

① 基礎・応用研究



大学・国研、企業
(市内約150機関)